

Homeo-Age™

ホメオエイジ



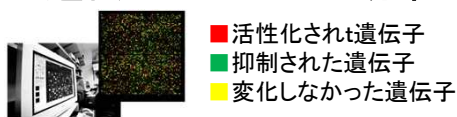
表示名称 : アスコフィラムノドスムエキス

- ヨーロッパの豊かな海で採集された褐藻を使用
- ビタミン、ミネラルが豊富な海藻より抽出精製した特別なエキス
- DNAレベルで老化した細胞を活性化
- 1型&3型コラーゲン、デコリンなど真皮を修復
- 老化細胞のEGFへの反応を高める

Ascophyllum nodosum

大西洋を中心にみられる大型の褐藻で、豊富な栄養を含むことからサプリメントや肥料にも使われます。

◎遺伝子レベルでの効果

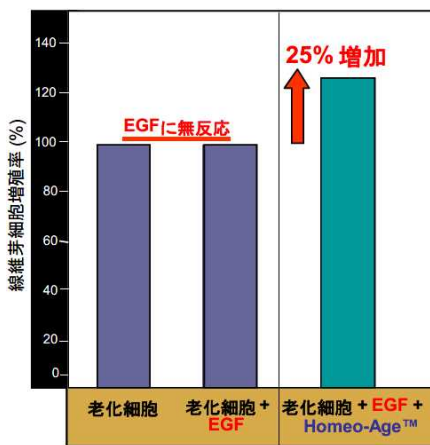


遺伝子名	老化細胞	Homeo-Age™ の効果
α-SMA(平滑筋アクチン繊維) <small>(皮膚修復過程に発現する。線維芽細胞の活性化の指標)</small>	■	■
1型コラーゲンα-1鎖	■	■
3型コラーゲンβ-1鎖	■	■
細胞質由来β-actin	■	■
デコリン <small>(コラーゲン束の形成に関与)</small>	■	■
GSHリダクターゼ <small>(グルタチオン還元酵素)</small>	■	■
HSP27 <small>(皮膚ダメージから直接的に細胞を保護。皮膚修復に関与)</small>	■	■
B1インテグリン <small>(表皮-基底膜、線維芽細胞-ECMの結合に必須の細胞レセプター)</small>	■	■
ラミンA <small>(早老症にも関わる加齢関連の核構造タンパク質)</small>	■	■
ラミニンβ1 <small>(基底膜タンパク質であるラミニンを構成する3鎖の一つ)</small>	■	■
MMP3 <small>(ゼラチナーゼの一つ。主にフィブロネクチン、ラミニン、3型、4型コラーゲンを分解する)</small>	■	■
PAI-1(プラスミノゲン活性化酵素阻害因子1) <small>(別名: セルピン-セリンプロテアーゼインヒビター)</small>	■	■

DNAチップを用いて、老化細胞のみとHomeo-Age添加後の老化皮膚の遺伝子の状態を調べた。

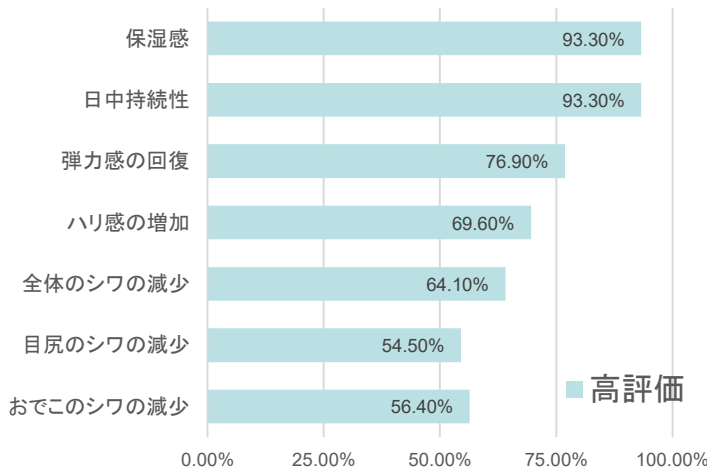
真皮、基底膜構造たんぱく質の合成促進と安定化、細胞DNAの安定化が確認された。

◎老化細胞の若返り効果



老化により、EGFに反応しなくなってしまった細胞を活性化し、**生体内のEGFに反応できる若さを取り戻します。**

◎クリニカル (0.5%配合クリームを夜1回、28日間塗布)



商品名 : Homeo-Age™(ホメオエイジ)

有効成分 : アスコフィラムノドスムエキス

防腐剤 : フェノキシエタノール/ソルビン酸K

組成 : 水/ソルビトール

剤形 : 水溶液(水溶性)

推奨濃度 : 0.5-2.0%

推奨配合条件 : 25-40°C/pH5-7

安全性試験:

皮膚一次刺激性

連続皮膚刺激性/皮膚感作性(HRIPT)

眼刺激性(HET-CAM)

変異原性(AMES)

ヒトパッチ

